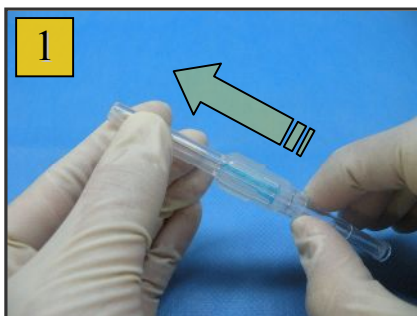


止血弁付き

スーパースZtu-V

～使用方法～



キャップを外した後、ハブを保持したまま、針先を傷めないようにプロテクターを外します。



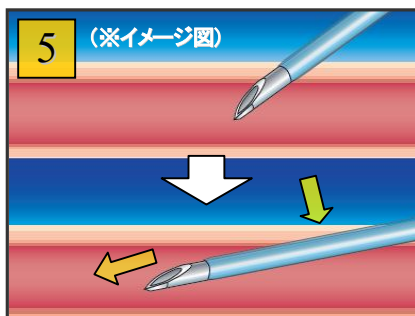
カテーテルが金属内針の刃面部分に覆い被さっていないことを確認します。



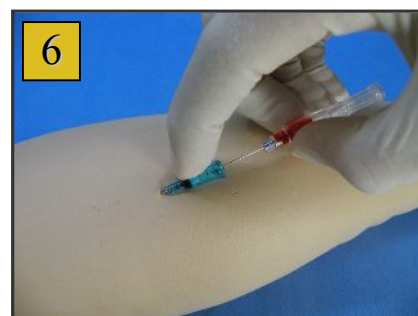
刃面の向きを確認し、ハブを持って穿刺します。



逆血を確認します。
(血管確保に失敗し、再穿刺を行う場合は新しい留置針を使用して下さい。)



逆血が確認できたら、角度を低くしてカテーテルと金属内針を一緒に数ミリ程進めます。



内針を動かさずカテーテルを必要な深さまで進めます。
(カテーテル内では金属内針を前後に動かさないで下さい。カテーテルが損傷し、カテーテル破断の恐れがあります。)



カテーテルハブ内への血液逆流の確認後は、直ちに駆血帯を解除します。



内針を耐貫通性で漏れない容器に安全な方法で廃棄します。



カテーテルハブに輸液セット等の輸液ラインとしっかり接続します。施設で定められた手順に従い、カテーテルを固定し、穿刺部位を保護します。

添付文書を必ずご参照下さい。